

手話で学ぶ

# 『今日』を戦前と しないために

～ラジオからの音楽で死の淵から這いあがれた～

爆心地から約6キロ。宇品棧橋からフェリーで約10分。1938年の地図から消されてしまった金輪島。戦後は何もなかったかのように『忘れられた金輪島』兵役免除の師範学生だった江種さんが金輪島で被爆したのはなぜでしょうか？江種さんの考える平和とは？江種さんの体験を聞く中で、今の私たちに何が必要なのかをともに考えましょう。

日時 2018年 **12月8日(土) 13:30～15:30**

場所 **東区地域福祉センター 4階 ボランティア研修室**  
(東区東蟹屋町9-34)

講師 広島県原爆被爆教職員の会会長  
江種 祐司(えぐさ ゆうじ)さん

プロフィール

1927年福山市生まれ  
1942年広島師範学校入学  
1945年金輪島で被爆  
1948年広島師範学校卒業  
広島市立第3中学校(翠町中学校)就職  
1988年退職  
現在被爆証言活動中



参加申込 TEL・FAX・メールで名前、連絡先をお知らせください。

参加費 無料 どなたでも参加できます

<b>参加を申し込みます</b>	
<b>名 前</b>	
<b>連絡先(TEL・email)</b>	

申し込み・問合せ先

**特定非営利活動法人 広島県手話通訳問題研究会**

TEL 082-568-6770 (平日 13:00～17:00 時間外留守電あり)

FAX 082-568-6771

e-mail [hirotsu-ken@nifty.com](mailto:hirotsu-ken@nifty.com)

